

ブラジル オレンジ果汁の先物価格が50%下落

[FreshPlaza](#) 2025年4月1日

世界最大のオレンジ果汁輸出国であるブラジルは、オレンジ果汁価格の大幅な下落に影響を与えており、今年は先物価格が50%減少した。冷凍濃縮オレンジ果汁(FCOJ)の契約価格は、今年1月にニューヨーク取引所で1ポンド当たり5.1465ドルのピークに達し、その後2.6210ドルで取引された。さらに3月18日には2.4290ドルの安値をつけた。バロールデータ(経済情報サイト)によると、昨年、果汁価格は28.7%下落した。

この下落は、5月から始まる2025/26年度シーズンのブラジル産オレンジ収穫量の改善予想に関連している。前回の出荷量は、干ばつの影響を受け2億2,852万箱であった。ラボバンク・ブラジルの上級アナリストであるアンドレス・パディリャ氏は、予想は2億6千万箱から3億箱の範囲で、以前の水準から30%増加する可能性がある」と指摘した。米国農務省のブラジリア事務所は、さらに多い3億2千万箱と予測している。

パディリャ氏は、農務省の予測は楽観的だが可能性がある」と認めた。同氏は、栽培面積の停滞とカンキツグリーニング病の増加にもかかわらず、果樹園への生産者の投資が増加している等の要因を強調しつつ、「気温は年々上昇しており、最近では降雨量が改善しているが、3億2千万箱に達するかどうかはまだ疑わしい」と述べた。

市場の期待は、より穏やかな天候の予測と5月に予定されている柑橘類栽培保護財団(Fundecitrus)の公式の収穫量予測にかかっている。パディリャ氏は、収穫量が2億6千万箱近くであれば価格を押し上げる可能性があり、3億箱を超える場合はさらに価格が下落する可能性がある」と示唆した。

価格の下落にもかかわらず、世界的な需要は依然として抑制されている。ブラジルの主要な果汁輸出業者を代表する団体であるCitrusBRは、消費者の需要がすぐに回復しない可能性がある」と指摘した。パディリャ氏は、「先物価格の変動が実際の消費者市場に反映されるまでには時間がかかる」と述べた。

出典: [Agribusiness](#)

ニュージーランド 2025年はエンヴィリンゴ輸出の記録的なシーズンに

[FreshPlaza](#) 2025年4月2日

ギズボーン地方で収穫されたニュージーランド産のエンヴィリンゴは、55カ国以上に輸出される予定である。T&G社のリンゴ部門の最高執行責任者(COO)であるシェーン・キングストン氏は、今シーズンのエンヴィブランドのプレミアムなリンゴは、世界中の取引先から非常に期待されている」と指摘した。

キングストン氏は、「過去16年間にわたり、エンヴィブランドのリンゴの生産に多額の投資を行い、ベトナム、タイ、中国、米国などの主要な世界市場でリンゴのプレミアムブランドの1つに成長させてきた」と述べた。同氏は、一貫した食体験と生産者への強力な収益還元を確保するためには、統合されたサプライチェーンシステムが重要であると強調した。

天候に恵まれた今年の収穫物は、着色が良く、歯ごたえと繊細で甘い風味があり、北半球産のエンヴィから南半球産へのスムーズな供給の移行が促進される。

2025年のニュージーランドのリンゴ出荷シーズンについて、同社は総輸出量を440万箱相当(TCE)と予測しており、これは7万9,200トンのリンゴに相当し、2022年以来最大の収穫量となる。キングストン氏は、「弊社はブランドに対する消費者の需要の高まりに対応するよう懸命に取り組んでおり、取引先は今シーズンのエンヴィリンゴの数量の増加を喜んでくれるだろう」と付け加えた。

同社は、ここ数カ月アジア全域で旧正月の売上高が好調であり、その勢いは続いていると報告している。米国では、エンヴィリンゴは1回の買い物で購入される数量が2番目に多いブランドリンゴにランクされ、またリピート買いの多さで3番目にランクされており、このプレミアムブランドに対する消費者の強い嗜好を示している。

出典: [F+B Tech](#)

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)